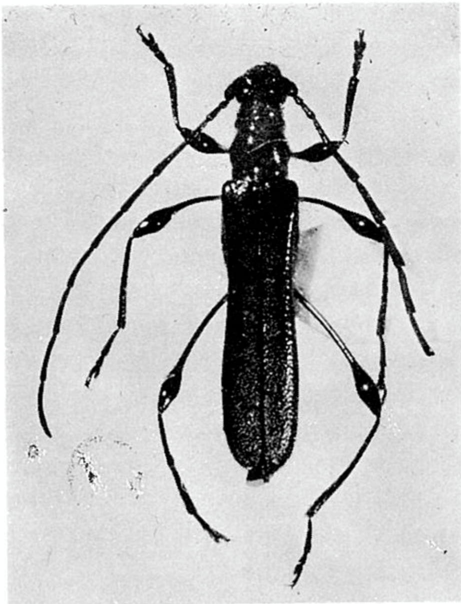
西表島でクビアカモモブトホソカミキリの♂を採集

堤 隆文



クビアカモモブトホソカミキリ *Kurarua rhopalophoroides* HAYASHI は最近，郷(1977)*) によりカミキリムシ科唯一の雌性単為生殖を営む種であることが確認されて話題を呼んでいる種である。しかし，これは本州(奈良・岡山県下)における生態で，西表島から1例が知られていた本種は，かなり離れた南の島嶼であることより，同様の生殖を行なっているかどうかが不明であった。

筆者は1977年3月に西表島にて，今まで未知であった本種の♂を採集した。また，同じ頃同地で他にもいくつかの♂および♀が得られていることから考えると，少なくとも本種は西表島では両性生殖を営んでいるものと思われる。

単為生殖を行なっていることに加え，ヤサイゾウムシなどのように場所によって生殖の様式が異なっていることは，従来，カミキリムシ科では知られていなかったことであり，本種はこの科の中できわめて興味深い存在であるといえよう。

採集データは次のとおり。

1♂，西表島千立，26. Ⅲ. 1977，堤隆文採集

夕方6:00頃，千立部落内の花上(樹種不明)にて採集したものである。

本州産の♀と比較して，体がやや細長いこと，足・触角が長いことなど，♂♀による性徴の差と考えられる差異をのぞけば，きわめてよく似ており，また，九州大学農学部昆虫学教室にある西表島産の♀（1964年に採集された最初の個体）が本州の♀とまるで変わらないことより，西表島の *Kurarua* は，*rhopalophoroides* そのものであると考える。今後，西表島産の本種の詳しい生態が判明することを期待したい。

最後に発表を勧めて下さった藤田宏氏，および写真を撮って下さった高桑正敏氏に深く感謝する。

*) T. GOH (1977): ELYTRA, **5** (1), pp. 13〜16

(〒903 那覇市首里当蔵町 3-1
琉球大学昆虫学教室内)

編集後記

今回は(も)アクシデントが重なりまくって，悲惨な日々を過してしまいました。1度，ゆったりと余裕のある編集をしたい！ という「夢」はあるのですが……これは私ばかりでなく，“本をつくる”という世界そのものの風習のようでもあります。

どうも編集者というのは，非常事態＝常態という感覚で受けとめ，対処するぐらいの神経でなくてはつとまらないようです。

次の ELYTRA Vol. 6 No. 1 は来年3月に発行する予定です。原稿をお待ちしています。

（1977年10月20日，藤田 宏）

ELYTRA Vol. 5, No. 2

昭和52年11月15日 印刷
昭和52年11月20日 発行

編集者 藤田 宏
発行者 草間慶一
発行所 日本鞘翅目学会
Japanese Society of Coleopterology
東京都台東区東上野4-26-8
福田惣一方（〒110）
c/o, FUKUDA, 4-26-8, Higashi-Ueno, Taitō-ku, Tōkyō Japan
印刷 ㈱大和印刷